

令和6年度 園芸科「総合実習 野菜」シラバス

単位数	3単位（うち1単位は時間割外）	学科・学年・学級	園芸科 3年 A組
教科書	野菜（実教出版）	副教材等	総合実習ノート

1 学習の到達目標

農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得し、経営と管理についての理解を深めるとともに、企画力や管理能力などを身に付け、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を身に付ける。

2 重点目標

- ・適切な服装や態度で実習にのぞみ、実習内容を記録する。
- ・露地野菜（トウモロコシ・カボチャ・ダイコン・レタス等）の栽培方法について理解する。
- ・販売実習を通して、高校生としてふさわしい態度で、お客様とのコミュニケーションが取れる力を身につけるようにする。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	トウモロコシ・カボチャの栽培	野菜類の育苗技術	農具の使用方法・管理方法を学ぶ。 育苗上の注意を学ぶ。 苗の管理技術を学ぶ。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認
		露地栽培における果菜類の栽培	トンネル被覆による効果を学ぶ。 カボチャの定植を行う。 整枝を行う。 誘引を行う。	
5	トウモロコシ・カボチャの栽培	施設・トンネル使用による早出し栽培	トウモロコシの収穫適期の見分け方を学ぶ。 トウモロコシを収穫し、計量・調整を行う。 販売実習を行う。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認
病害虫防除の方法について学ぶ。 追肥を行う。				
カボチャの収穫を行う。 販売実習を行う。				
6	トウモロコシ・カボチャの栽培	施設・トンネル使用による早出し栽培	トウモロコシの収穫適期の見分け方を学ぶ。 トウモロコシを収穫し、計量・調整を行う。 販売実習を行う。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認
病害虫防除の方法について学ぶ。 追肥を行う。				
7	トウモロコシ・カボチャの栽培	施設・トンネル使用による早出し栽培	カボチャの収穫を行う。 販売実習を行う。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認
農業鑑定競技会として実施				
9	ブロッコリー・レタス・ダイコンの栽培	露地栽培における葉菜類の栽培	育苗トレイを使用し、ブロッコリー・レタスのは種を行う。 かん水を行う。 トンネルの開閉、温室窓の開閉による温度調整技術を学ぶ。 定植を行う。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認
10		露地栽培における根菜類の栽培	土壌の適性pHを測定する。 苦土石灰を作目に応じたpH調整を行う。 ダイコンのは種を行う。 ホウレンソウのは種を行う。 病害虫防除の方法について学ぶ。	

11	ブロッコリー・レタス・ダイコンの栽培	露地栽培における根菜類の栽培	ブロッコリーを収穫し、計量・調整を行う。 品質保持技術について学ぶ。 レタスを収穫し、計量・調整を行う。 品質保持技術について学ぶ。 ホウレンソウを収穫し、計量・調整を行う。 品質保持技術について学ぶ。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認
12			ダイコンを収穫し、計量・調整を行う。 品質保持技術について学ぶ。 販売実習を行う。 農業鑑定競技会として実施	
1	土壌について	土壌の種類・性質	土壌消毒を行う。 病害虫対策の方法を学ぶ。 雑草対策の方法を学ぶ。 土壌の適性pHを測定する。 苦土石灰を作目に応じたpH調整を行う。土の性状 土質・土の性状 肥料配合を行う。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容
2				
3				

4 評価の観点

知識・技術	農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 農業生物の育成と環境保全に関するプロジェクト学習を通して、知識と技術を理解し、農業の社会的な意義や役割を理解している。
思考・判断・表現	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。 体験的、探究的な学習活動を通して、生物生産の仕組みとその育成や地域環境に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。 農業の各分野への展開と活用を目指し、主体的かつ協働的に取り組む態度を養い、農業の振興や社会貢献に主体的活協働的に取り組む力を身につけている。

5 評価の方法

「知識・技術」，「思考・判断・表現」，「主体的に学習に取り組む態度」，の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- ・出席を常にしてください。
- ・実習中心の科目です。実習に必要な実習服、教具を準備し、適切な服装で参加してください。
- ・毎時の実習内容、感想、反省を時間内に整理し、記入してください。
- ・次年度の実習に向け、機械、用具の名称や使用目的を覚えてください。
- ・実習ノート提出を定期的に行われます。各時間内にまとめ、常に整理されている状態にしてください。
- ・安全に配慮して、実習してください。